

ビル管理士（建築物環境衛生管理技術者試験）の問題集に誤りがございました。深くお詫びいたしますとともに、ここに訂正させていただきます。

市ヶ谷出版社刊 令和2年度版 ビル管理士 出題順問題集 正誤表			
頁	問題番号	誤	正
14	令和 元年度172	(3) ジフルベンズロンは、 <b>幼若ホルモン様化合物</b> である。	(3) ジフルベンズロンは、 <b>キチン形成阻害剤</b> である。
20	平成 30年度48	<p>解答：(5)            解説 材料が層になっている…            ……室内温度＝            24℃である。</p>	<p>解答：(4)            解説 材料が層になっている壁体の単位面積当たりの熱流（q）は            熱流（q）＝温度差×熱貫流率            で示される。            また、単位面積当たりの熱流は、壁体および空気層のどの断面をとっても一定である。            そして、構成する部材間の温度差および、室外側空気層の温度差、室内側空気層の温度差は、構成材の熱貫流抵抗（熱伝達抵抗）（＝熱貫流率の逆数）の大きさに比例する。つまり構成する部材（空気層も同じ）の熱貫流抵抗が大きいほど部材間の温度差も大きくなる。            以上より、室内表面温度をt℃すると、            壁体の熱貫流抵抗×壁体間の温度差＝室内空気層の熱貫流抵抗×室内空気層の温度差  <math>0.25 \times (24 - 4) = 0.1 \times (24 - t)</math>  <math>t = 24 - 8 = 16</math>            注) 壁体の熱貫流率には、<b>室内側熱伝達率</b> [10W/ (m<sup>2</sup>・K)] と<b>屋外側熱伝達率</b> [20W/ (m<sup>2</sup>・K)] を含んでいる。</p>

(2020. 7. 25)